

産業能率大学 情報マネジメント学部

現代社会の倫理と公共	履修年次	1	
	単位	2	
黒川 都史紀	配当期	前・後	
	授業方法	講義 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>授業では、倫理の意義、善悪の判断基準など倫理(学)の基本的事項について学習した後、西欧人の自然観、人間観、倫理観並びに現代の私たちが享受している自由の本質、平等および幸福の根本的な意味などについて考える。また日本人の特質を風土との関わり、アメリカの文化人類学者が分析した日本文化論などをとおして考える。</p> <p>今日の科学技術の高度な発達によってもたらされた生命・医療・情報・環境等の新たな倫理的課題について学習と思索を深める。さらに、度々メディアで報道され、大きな社会問題となっている企業の事故・不祥事を職業倫理、企業倫理の面から考え、企業の社会貢献、社会的責任や事故・不祥事を防ぐ企業統治のあり方を追求する。</p> <p>現代社会が抱える様々な課題に対する取り組みとして、内外のNPO法人、NGOの活動が果たす役割は大きい。2017年ノーベル平和賞を受賞した国際NGO「ICAN」の活動から核兵器廃絶への道を探る。</p> <p>これらの学習を通じてよりよい社会の形成者として、急変する社会に貢献するための人間の生き方、あり方について考えてゆく。</p> <p>毎週配布する講義資料(レジュメ)の他、身近な時事教材を活用してのグループワークや発表を行うなど、興味・関心をもって学習ができるようになります。講義に主体的に参加できるよう授業外学習にも積極的に取り組むよう期待する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会が直面している倫理的な課題に興味・関心を持ち、それらの課題を自己の課題として考えることができる。 ・社会の変化に関連づけながら、自己の生き方、あり方を考えることできる。 ・倫理をめぐる時事問題を取り上げ、その発生要因、解決方策などについてコメントできる。 			
成績評価の方法			
・授業への参加度、授業外学習、提出課題を総合的に判断して評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンス「倫理」と「倫理学」	8	生命の倫理学(3)再生医療・終末期医療とその倫理的課題
2	道徳的判断について	9	情報社会の倫理
3	西欧社会の「倫理」	10	地球環境の危機と環境倫理
4	日本人と倫理(自然・宗教・社会)	11	職業倫理・企業倫理とコンプライアンス
5	西欧近代社会と「倫理」「人間の尊厳」と人権思想	12	公共とは何か?NPO、NGOの意義
6	生命の倫理学(1)バイオテクノロジーの発達と医療倫理	13	ODAと国際協力
7	生命の倫理学(2)移植医療・生殖医療とその倫理的課題	14	戦争と平和の倫理核兵器廃絶への道